

企業景況調査報告書

(平成29年10～12月期)

< 目次 >

質問1 調査の概要・結果概要 1
質問2 (直面している経営上の問題点) 2
質問3 (所定内賃金の動向) 3
質問4 (意見等自由記載欄) 4
DI集計結果・分布 5～7
調査票様式 8

倉吉商工会議所

倉吉市明治町 1037-11

TEL 0858-22-2191

FAX 0858-22-2193

Email cci3103@kurayoshi-cci.or.jp

倉吉商工会議所企業景況調査報告書（平成29年10～12月）

調査対象企業	倉吉市内の商工会議所会員企業 100社 (建設業21社、製造業19社、卸売業11社、小売業22社、サービス業21社、その他6社)
調査方法	各事業所宛てにFAXにて調査票を送付し、FAXにて返信依頼。必要に応じて訪問回収。
調査時期	平成30年1月上旬
回収状況	91社(回収率91%) ※前回(7～9月)84社 (建設業20社、製造業18社、卸売業10社、小売業21社、サービス業16社、その他6社)

<今期の状況> (5ページ表参照)

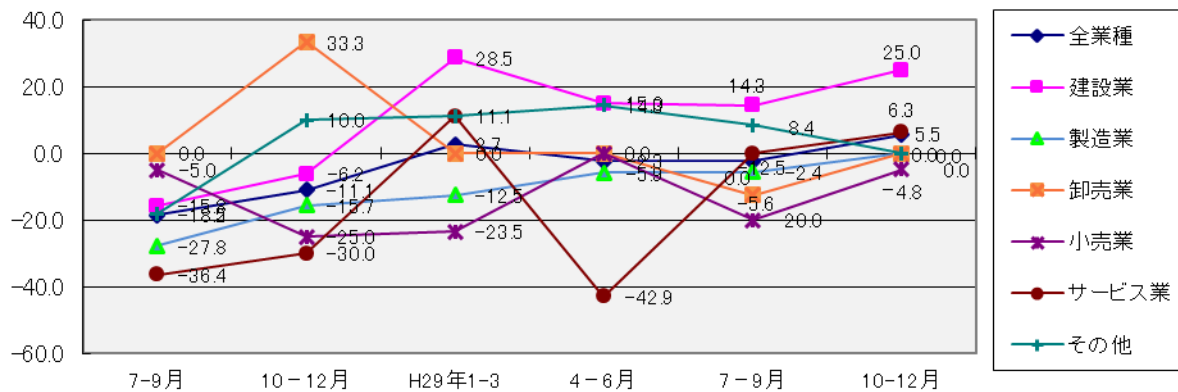
今期の全業種の業況DIは、前年同期比で前期の▲2.4から上昇し、5.5となった。業種別に見ると、建設業・製造業・卸売業・小売業・サービス業で上昇しており、それぞれ建設業は25.0(前期14.3)、製造業は0.0(前期▲5.6)、卸売業は0.0(前期▲12.5)、小売業は▲4.8(前期▲20.0)、サービス業は6.3(前期0.0)と上昇している。一方、その他の業種では下降しており、0.0(前期8.4)という状況である。

<来期の見通し> (5ページ表参照)

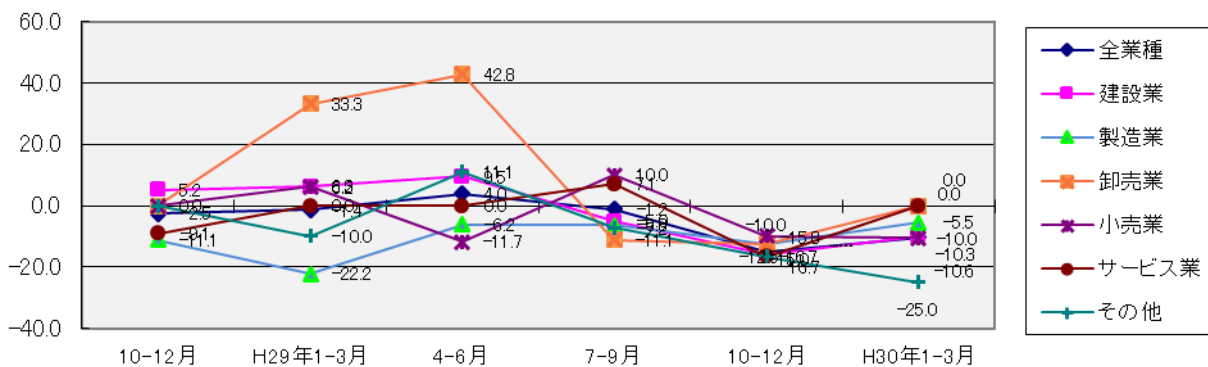
来期の見通し(平成30年1～3月)では、全業種のDI値は▲10.3(前期▲15.0)であった。業種別に見ると建設業では▲10.0(前期▲15.8)、製造業は▲5.5(前期▲12.5)、卸売業は0.0(前期▲12.5)、サービス業が0.0(前期▲16.7)と4業種で上昇する見通しとなった。一方、小売業は▲10.6(前期▲10.0)、その他の業種は▲25.0(前期▲16.7)と2業種で下降する見通しである。

<業況判断DIの推移> ※今期のDI値集計結果についてはP5をご参照下さい。

(1) 今期の状況 <業種別>



(2) 来期の見通し<業種別>



※DI値

売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表します。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。

したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりという意味するものです。DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

質問2 直面している経営上の問題点（上位3点を回答）

- 01 競争激化 02 消費・需要の停滞 03 売上・受注減少 04 売上・受注単価低下
 05 原材料・仕入価格上昇 06 原材料・在庫不足 07 原材料・在庫過剰
 08 店舗・生産設備不足・老朽化 09 店舗・生産設備過剰 10 経費の増加 11 人手不足
 12 人手過剰 13 利益率低下 14 代金回収難 15 資金繰り難 16 新分野進出
 17 その他:具体的に()

[上位項目]

※ () 内は件数

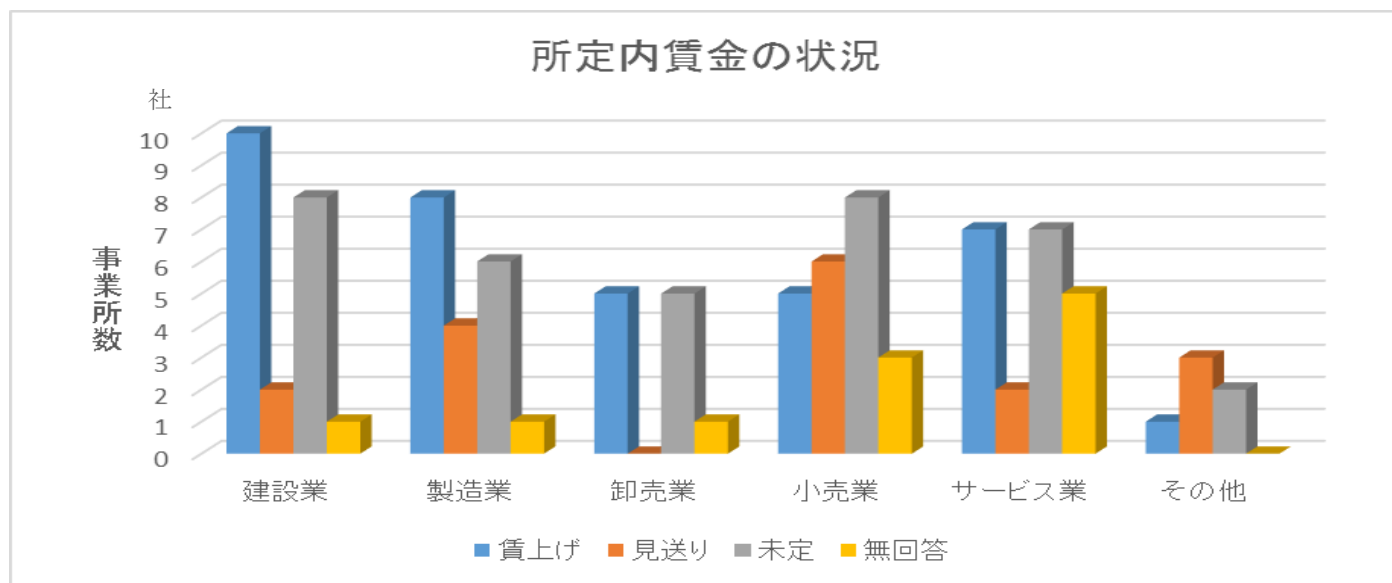
分類		1 位	2 位	3 位
全業種	当 期	人手不足 (36)	競争激化 (34)	原材料・仕入価格上昇 (30)
	前 期	人手不足 (38)	競争激化 (29)	売上・受注減少 (28)
建設業	当 期	人手不足 (11)	原材料・仕入価格上昇 (7) 経費の増加 (7) 利益率低下 (7)	競争激化 (4) 新分野進出 (4)
	前 期	人手不足 (15)	原材料・仕入価格上昇 (8)	利益率低下 (6)
製造業	当 期	店舗・生産設備不足・老朽化 (7) 人手不足 (7) 利益率低下 (7)	消費・g g 需要の停滞 (6) 原材料・仕入価格上昇 (6)	売上・受注減少 (5) 経費の増加 (5)
	前 期	人手不足 (9)	消費・需要の停滞 (6) 原材料・仕入価格上昇 (6)	競争激化 (5) 売上・受注減少 (5) 店舗・生産設備不足・老朽化 (5)
卸売業	当 期	競争激化 (7)	原材料・仕入価格上昇 (4)	売上・受注減少 (3) 経費の増加 (3) 人手不足 (3)
	前 期	売上・受注減少 (5)	競争激化 (4)	原材料・仕入価格上昇 (3) 経費の増加 (3)
小売業	当 期	競争激化 (12)	消費・需要の停滞 (9)	売上・受注減少 (6)
	前 期	競争激化 (12)	消費需要の停滞 (8)	利益率低下 (7)
サービス業	当 期	競争激化 (7) 消費・需要の停滞 (7) 原材料・仕入価格上昇 (7) 人手不足 (7)	売上・受注減少 (3) 店舗・生産設備不足・老朽化 (3) 経費の増加 (3) 利益率低下 (3)	資金繰り難 (2)
	前 期	消費・需要の停滞 (5) 売上・受注減少 (5) 店舗・生産設備不足・老朽化 (5) 人手不足 (5)	経費の増加 (3) 利益率低下 (3)	原材料・仕入価格上昇 (2)
その他	当 期	人手不足 (3)	競争激化 (2) 消費・需要の停滞 (2) 売上・受注減少 (2) 原材料・仕入価格上昇 (2) 経費の増加 (2) 新分野進出 (2)	利益率低下 (1) 代金回収難 (1) 資金繰り難 (1)
	前 期	消費・需要の停滞 (3) 売上・受注減少 (3)	競争激化 (2) 経費の増加 (2)	原材料・仕入価格上昇 (1) 人手不足 (1) 代金回収難 (1) 資金繰り難 (1) 新分野進出 (1)

17. その他の課題

※社員の高齢化（小売業）、熟練者の不足（サービス業）

質問3 現在の所定内賃金の動向について

平成29年度の所定内賃金の状況

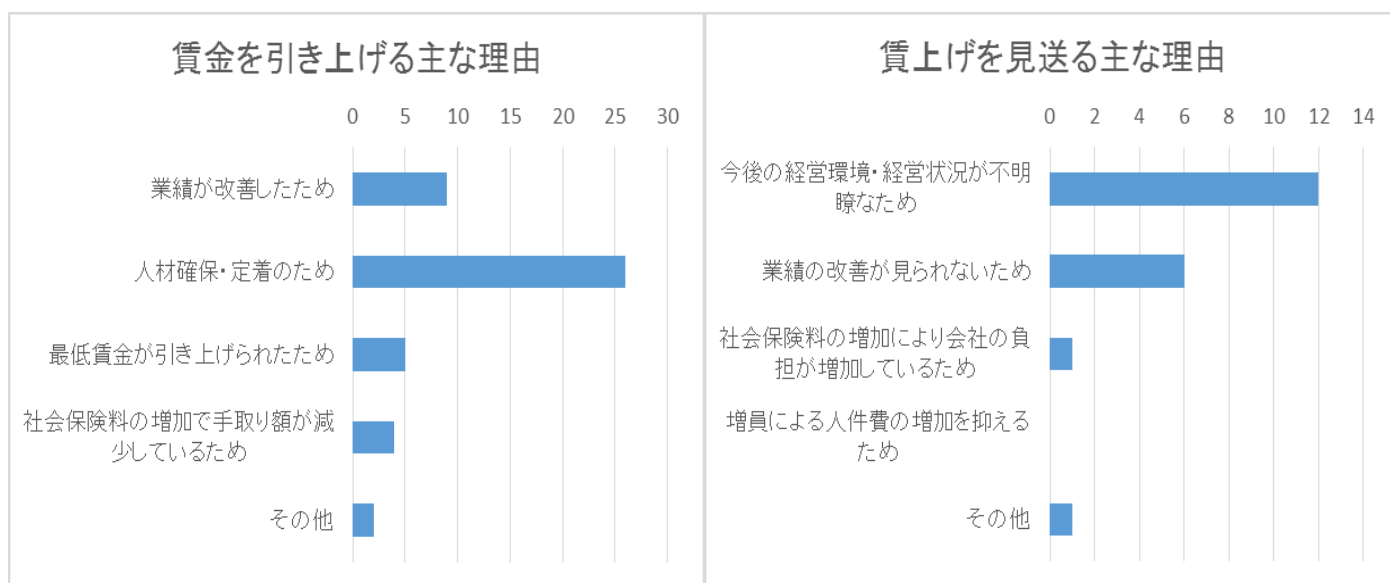


	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	その他	合計
■賃上げ	10	8	5	5	7	1	36
■見送り	2	4	0	6	2	3	17
■未定	8	6	5	8	7	2	36
■無回答	1	1	1	3	5	0	11

所定内賃金の動向についての回答は、「賃上げを実施」が36%、「賃上げを見送る」が17%、「現時点では未定」が36%、「無回答」が11%であった。

賃上げを実施すると回答した事業所で、賃金を上げる主な理由としては、「人材確保・定着のため」との回答が一番多く、経営上の問題にも「人手不足」が多く挙げられている事からも、多くの事業所で人手不足の改善を図ろうとしているのが窺える。

一方、賃上げを見送ると回答した事業所で、賃上げを見送る主な理由としては、「今後の経営環境・経営状況が不明瞭なため」「業績の改善が見られないため」との回答が多かった。また、賃上げを見送った理由として、「賃上げを実施して間もないため今期は見送る」との回答もあった。



質問4 現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望について

【建設業】

- ・法定福利費が確実にもらえるか？
- ・地震の復興事業の為多少忙しくしているが今後いつまで続くのか・・・。

【製造業】

- ・年末年始の観光は風評被害により低迷している。固有記号の廃止は観光においては不安材料で、新たな市場へのチャレンジが必要ととらえている。
- ・今期の売上高は前年比 100%でしたが、原材料価格の上昇、地震により機械等復旧途中の為、業況は良くない。
- ・誘致企業の手厚い補助金には理解できるものの、既存の頑張っている企業へも何らかの補助を頂ければ有難いし励みになる。
- ・人手不足と、人手不足に伴う人件費の高騰、それとは相反し加工費の据え置きにて利益は上がっていかない問題がある。また、電気代の高騰、社会保険料の増加もある。
- ・景況感は、仕事量が増え残業・休日出勤も増えたが、利益は小さく忙しいだけと感じる。

【卸売業】

- ・社員のほとんどが 60 代以上。車両・冷蔵庫等老朽化しているため、数年後には資金が必要になる。

【サービス業】

- ・景況は地方では感じられない。大企業中心的な働き方改革でなく、中小企業を育てる改革にしてほしい。
- ・鳥取県発注業務の応募要件となっている有資格者が高齢化しているが、若年労働者との切替をするために採用している。そして、若い技術者育成が必要であるが、資格を取らせることにも苦勞している。国の政策や社員の気持ち以前に、当社の都合で高齢の有資格者を能力に係らず退職させれなくなっている。近年、資格が多すぎることに原因があると思う。ほとんどが民間資格で、国家公務員の退職後の天下り組織であると思われる。
- ・皆さんの外食に使うお金が少なくなっている。
- ・中部地震の被害の修復・復興に向けてまだ時間、費用もかかりそう。修繕・修復・設備に資金が多くかかりなかなか利益まで出ないのが現状。

【その他】

- ・消費停滞に伴う売上減少。人員の確保。

D I 集 計(前年同期比=H29年10~12月期、来期の見通し=H30年1~3月期)

【製造業・非製造業別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 資金繰り	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	14.3	-9.0	9.9	8.0	1.1	-9.2
製造業	5.6	-22.2	0.0	16.7	-5.6	-16.6
非製造業	16.5	-5.7	12.3	5.7	2.8	-7.2

	4. 借入難度		5. 収益状況		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	6.6	4.6	14.8	5.7	6.8	9.4
製造業	0.0	5.5	11.1	5.5	-5.5	-5.5
非製造業	8.2	4.4	15.7	6.1	10.0	13.4

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	5.5	-10.3
製造業	0.0	-5.5
非製造業	6.9	-11.5

【業種別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 資金繰り	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	14.3	-9.0	9.9	8.0	1.1	-9.2
建設業	25.0	-25.0	15.0	10.0	15.0	-5.0
製造業	5.6	-22.2	0.0	16.7	-5.6	-16.6
卸売業	10.0	-11.1	0.0	11.1	0.0	0.0
小売業	23.9	20.0	19.0	15.8	-9.5	0.0
サービス業	-6.2	-6.2	18.7	0.0	0.0	-12.5
その他	33.3	-16.6	-16.6	-33.3	16.7	-33.3
非製造業	16.5	-5.7	12.3	5.7	2.8	-7.2

	4. 借入難度		5. 収益状況		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	6.6	4.6	14.8	5.7	6.8	9.4
建設業	20.0	10.0	22.2	11.1	5.3	21.1
製造業	0.0	5.5	11.1	5.5	-5.5	-5.5
卸売業	10.0	-11.1	20.0	11.1	33.3	0.0
小売業	-9.5	0.0	9.5	0.0	15.0	0.0
サービス業	18.8	12.5	12.5	6.3	0.0	18.8
その他	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	12.5
非製造業	8.2	4.4	15.7	6.1	10.0	13.4

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	5.5	-10.3
建設業	25.0	-10.0
製造業	0.0	-5.5
卸売業	0.0	0.0
小売業	-4.8	-10.6
サービス業	6.3	0.0
その他	0.0	-25.0
非製造業	6.9	-11.5

2 今期直面している経営上の問題点

競争激化

消費・需要の停滞

売上・受注減少

売上・受注単価低下

原材料・仕入価格上昇

原材料・在庫不足

原材料・在庫過剰

店舗・生産設備不足・老朽化

店舗・生産設備過剰

10 経費の増加

11 人手不足

12 人手過剰

13 利益率低下

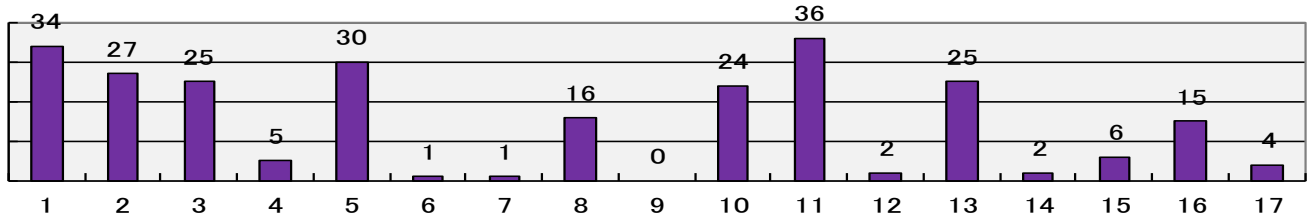
14 代金回収難

15 資金繰り難

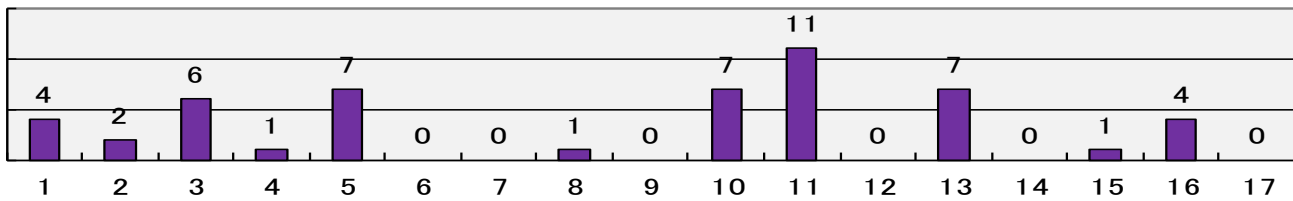
16 新分野進出

17 その他

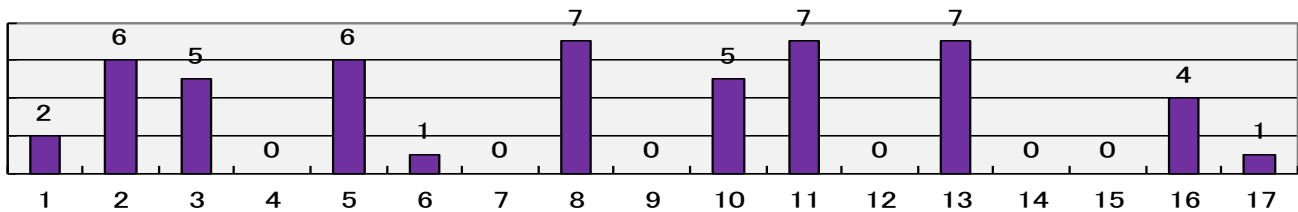
全業種(複数回答)



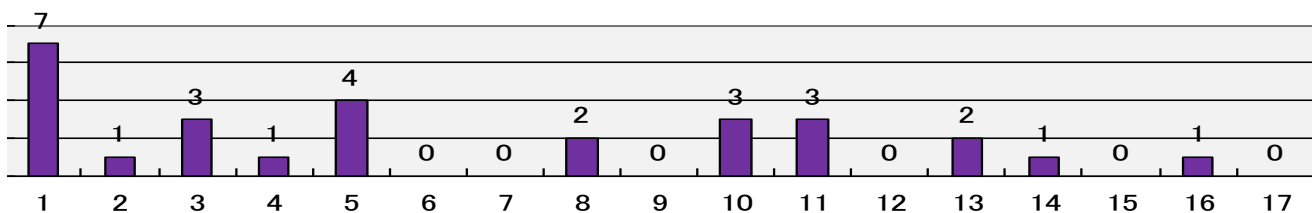
建設業(複数回答)



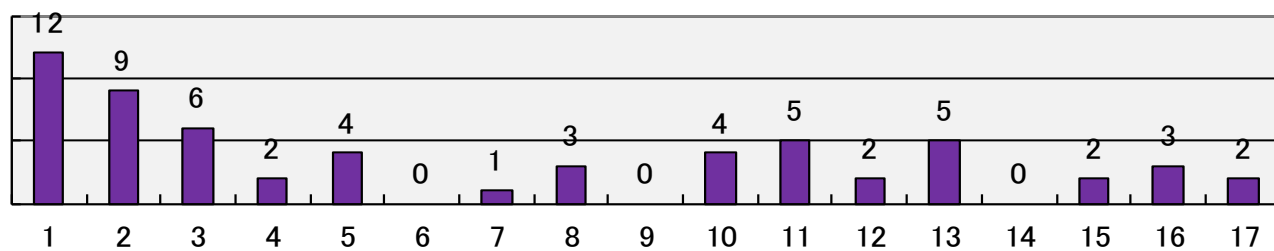
製造業(複数回答)



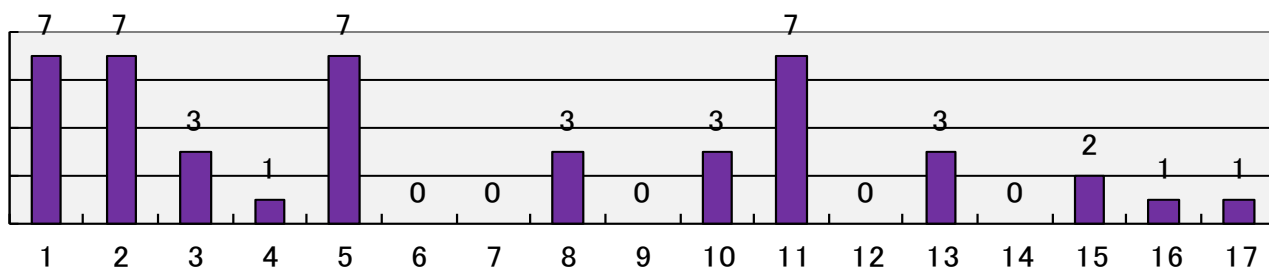
卸売業(複数回答)



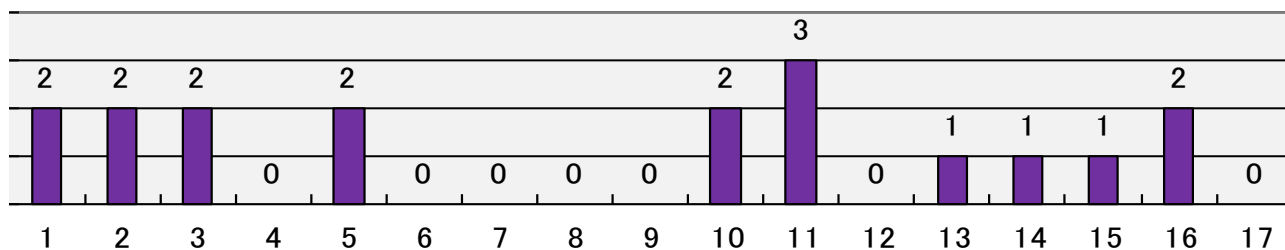
小売業(複数回答)



サービス業(複数回答)



その他(複数回答)



事業所名: _____ (お手数ですがご記入をお願いします。)

㊚

倉吉商工会議所企業景況調査票(平成 29 年 10~12 月期)

調査元: 倉吉商工会議所 TEL:22-2191

FAX:22-2193

【質問 1】 前年同期と比較した今期(平成 29 年 10~12 月)の状況と、今期と比較した来期(平成 30 年 1~3 月)の見通しについて、最も近いものに○印をお付けください。

1) 売上高	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
	(来期の見通し)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
2) 売上単価	(前年同期比)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
	(来期の見通し)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
3) 収益状況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
4) 資金繰り	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
5) 借入難度	(前年同期比)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
	(来期の見通し)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
6) 雇用人員	現在の従業員数	人(うち正規雇用者 人)		
	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
	(来期の見通し)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
7) 貴社の業況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化

【質問 2】 今期直面している経営上の問題点について、重要度の高い順に該当する番号を回答欄へご記入ください。

- | | |
|------------------|-------------|
| 01 競争激化 | 10 経費の増加 |
| 02 消費・需要の停滞 | 11 人手不足 |
| 03 売上・受注減少 | 12 人手過剰 |
| 04 売上・受注単価低下 | 13 利益率低下 |
| 05 原材料・仕入価格上昇 | 14 代金回収難 |
| 06 原材料・在庫不足 | 15 資金繰り難 |
| 07 原材料・在庫過剰 | 16 新分野進出 |
| 08 店舗・生産設備不足・老朽化 | 17 その他:具体的に |
| 09 店舗・生産設備過剰 | () |

回答欄

1位 _____

2位 _____

3位 _____

【質問 3】 I. 所定内賃金の動向についてあてはまるものに○印をお付け下さい。

1: 賃上げを実施(予定含む) ⇒ IIへ 2: 賃上げを見送る(予定含む) ⇒ IIIへ 3: 現時点では未定

II. 賃上げを実施(予定含む)する理由についてあてはまるものに○印をお付け下さい。

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 1: 業績が改善したため | 2: 人材確保・定着のため |
| 3: 最低賃金が引き上げられたため | 4: 社会保険料の増加で手取り額が減少しているため |
| 5: その他 () | |

III. 賃上げを実施(予定含む)しない理由についてあてはまるものに○印をお付け下さい。

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1: 今後の経営環境・経営状況が不明瞭なため | 2: 業績の改善が見られないため |
| 3: 社会保険料の増加により会社の負担が増加しているため | 4: 増員による人件費の増加を抑えるため |
| 5: その他 () | |

【質問 4】 現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望についてご記入ください。

ご協力ありがとうございました。